

夏休み

ファミリー コンサート

夏だ!祭だ!オーケストラだ!
心躍るオーケストラの世界へようこそ!
手拍子で盛り上がりったり
ミュージカルやクラシックの
名曲をゆったり聴いたり
ワクワクがたくさん!
心と身体で音楽を感じて
夏休みの素敵な思い出を
作りませんか?

プログラム

～家族でわいわいクラシック祭り!～

オープニング

ビゼー：歌劇「カルメン」より
第1幕への前奏曲

楽器紹介コーナー

各楽器の紹介

久しぶりの夏公演。夏祭りをイメージした曲

スッペ：喜歌劇「軽騎兵」より序曲

オーケストラとコラボレーション

三村総撤 編曲：Clip Beat Clap!2

映画の名曲

「サウンド・オブ・ミュージック」メドレー / 星に願いを

平和をイメージするクラシック

スメタナ：連作交響詩「我が祖国」よりモルダウ

※間に約20分の休憩があります。 ※プログラムは変更する場合があります。

2023.7/23日

開場10:15 / 開演11:00 / 終演13:00(予定)

会場 NHK大阪ホール
(大阪府中央区大手前4-1-20)

料金 おひとり2,300円
(入場には必ずチケットが必要です)

【指揮】

関谷 弘志

【管弦楽】

日本センチュリー交響楽団

参加対象

会員生協組合員とその家族。
4才以上(3才以下のお子様は入場できません。)

- ご入場にはおひとりにつき1枚チケット(全席指定)が必要です。
- 大人の方のみでも申込みいただけます。●座席指定のご要望はお受けできません。
- お申込多数の場合は抽選となります。
- 当選の結果はチケットの発送をもってかえさせていただきます。



電車・バスで
お越しの方
■地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」2番・9番出口すぐ
■大阪市営バス「馬場町」バス停すぐ

■お申込み方法

- 電話受付
組織部 06-6319-5619(月～金 9:00～17:00)
締め切り 6月28日(水)17:00まで
※ご注文後のキャンセルはできませんので、ご注意ください。

チケットのお届け

- 申込された方には、座席を指定したチケットをお送りいたします。

- チケットは、7月7日(金)頃に、ご自宅へ郵送いたします。
- 料金引き落としは、7月27日(木)となります。

お問い合わせは、
ご加入されている右記生協まで
お願いいたします

大阪よどがわ市民生協 組織部
電話:06-6319-5619 (月～金 9:00～17:00)

企画No.2052

指揮 関谷 弘志



パリ・エコール・ノルマルのフルート科を卒業。大阪センチュリー交響楽団（現日本センチュリー）のフルート奏者を務めた後、指揮を志し東京音楽大学指揮科を卒業。仙台フィルハーモニー管弦楽団の副指揮者、オーケストラアンサンブル金沢の専属指揮者、同志社女子大学教授をそれぞれ歴任。リスボン国際指揮者コンクール入賞のほか、プロコフィエフ国際コンクール、カトヴィツェ国際指揮者コンクールなどでも受賞。現在までに、ロシアシンフォニーオーケストラ、リスボンメトロポリタンオーケストラ、ハイファシンフォニー（イスラエル）ポーランド放送交響楽団など海外のほか、東京都交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪市音楽団、広島交響楽団、九州交響楽団等、国内の主要オーケストラに多数客演している。現在同志社女子大学音楽学科講師

① オープニング

ビゼー：歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲

オープニングにふさわしいドラマティックな物語である歌劇「カルメン」。世界に誇るオペラ作曲家であるフランスのビゼーが晩年に作曲した、最高傑作といわれる歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲からスタートします。誰もきっと一度は聴いたことのある「闘牛士の入場」の華やかでダイナミックなメロディで、情熱的な歌劇「カルメン」の世界をお楽しみください。



② 楽器紹介コーナー

恒例の楽器紹介コーナー!!各楽器の配置や役割を、実際の音を聴きながら、指揮者のトークを交えてご紹介いたします。普段、触れ合うことが少ない楽器の魅力を知ることができるチャンスです。



⑥ 平和をイメージするクラシック

スメタナ：連作交響詩「我が祖国」よりモルダウ

連作交響詩「我が祖国」はチェコの国民的作曲家スメタナが、祖国を思いながら1874年から1879年にかけて書いた6曲からなる交響詩です。「モルダウ」とは川の名前で、水が集まって川になっていく音、川の水が石に当たって水しぶきをあげる音、太陽の光が川面に写る様子などをさまざまなメロディで奏でます。そのメロディは美しく憂いをたたえ、時には切なく、時には軽快に表現します。祖国を思う屈伸の名旋律を、ぜひお楽しみください!



③ 久しぶりの夏公演。夏祭りをイメージした曲

スッペ：喜歌劇「軽騎兵」より序曲

冒頭のトランペットによるファンファーレが特に有名な序曲「軽騎兵」は、オーストリアの作曲家スッペの代表作です。みなさん、「どこかで聴いたことがある…」、そんな彼が作曲した「序曲」は勇ましい「軽騎兵」の騎馬行進の姿と住民たちとの愉快的な生活、そして、やがて戦死していった友への哀歌を表現した、物語のある一大喜歌劇として心に残る1曲です。



⑤ 映画の名曲

「サウンド・オブ・ミュージック」メドレー

1959年、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」がブロードウェイで初演されると、人気を博し、瞬く間に1965年に映画化されました。世界中で話題になったこの実話に基づく不朽の名作「サウンド・オブ・ミュージック」。どれを聴いても傑作といわれる名曲たちを豪華なメドレーでお届けします。家族との絆や故郷への愛・自然の美しさを、オーケストラの響きで味わい、いま一度、「家族」「自然」「平和」について考えてみてはいかがでしょうか。

星に願いを

1940年のディズニー映画『ピノキオ』の主題歌であるこの曲は米アカデミー賞で作曲賞を受賞し、オスカーを獲得した初のディズニーソングで、ディズニー映画の名曲といわれています。タイトル「星に願いを」の通り、「星に向かって願いごとをすれば、きっと叶うよ」という多くの子どもの耳に残っているシンプルな言葉。大人の皆さまにも届けたい…そんな気持ちで家族一緒にお聴きください。

④ オーケストラとコラボレーション

三村総撤 編曲：Clip Beat Clap!2

オーケストラの奏でる音楽にあわせて手拍子を。会場のみなさん全員が『オーケストラの一員』になるコーナーです。手拍子で共に音楽を楽しみ、会場全体が一体になって盛り上がる瞬間を体感しましょう!



管弦楽 日本センチュリー交響楽団

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジョーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」（豊中市）、「ルシオール街かどコンサート」（滋賀県守山市）等の地域連携事業にも力を入れている。オフィシャルホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>

